

○ 株式会社敷島ファーム（肉牛）は、自社の完熟牛ふん堆肥からペレット堆肥を製造。これにより運搬や散布の問題が解消され、より多くの耕種農家での堆肥利用が可能となった。

■ 国内資源の種類 ■ 肥料の種類・肥料名称

- ・牛ふん
- ・特殊肥料（牛ふん堆肥）

■ 作物 ■ 主成分の含有量(%)、特徴等

- ・水稲、畑作物

| N | P | K |
|-----|------|-----|
| 1.4 | 2.05 | 1.8 |

・水分率：28.7%
 ・炭素窒素比：16.7
 ※2023年9月28日時点

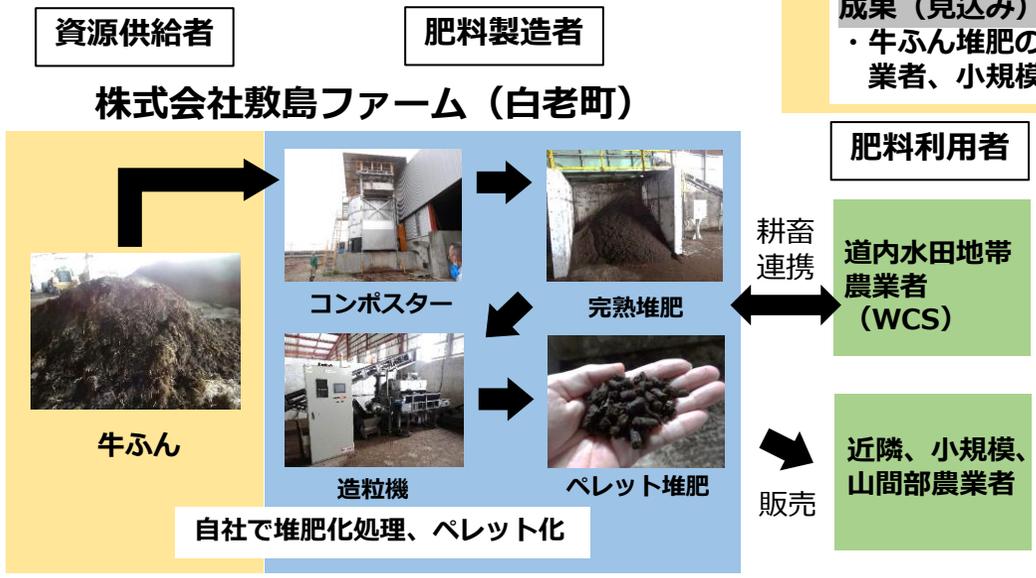
■ 取組の経緯・内容・成果（見込み）

- 取組の経緯**
- ・株式会社敷島ファーム（北海道白老町）では、自社牧場の牛ふんを堆肥化して肥料や土壌改良剤として活用。
 - ・牛ふん堆肥散布には専用散布機が必要であり、また長距離輸送は割高になるため、自社牧場利用のほか、近隣で専用散布機を所有している比較的規模が大きい耕種農家への堆肥提供が中心となっていた。
 - ・農業者からの要望もあり、令和5年8月から造粒機を導入し、完熟堆肥のペレット化への取組を開始。

- 取組の内容**
- ・自社で自然発酵し、コンポスターで仕上げた完熟牛ふん堆肥を造粒機によりペレット化し、近隣で小規模な山間部農業者へ販売。
 - ・また、道内水田地帯の耕種農家とWCSとペレット堆肥による耕畜連携をスタート。

- 成果（見込み）**
- ・牛ふん堆肥のペレット化により、運搬や散布に係る課題が解消され、より遠方の農業者、小規模農家、さらに山間部等、提供可能エリアが拡大。

■ 主たる取組主体と肥料利用までの流れ



■ 今後の課題・取組

- ・堆肥化にエネルギーコストがかかるため、メタンガスによるバイオガス発電や太陽光パネルの設置を検討。
- ・長期保管に向けた堆肥水分量の調整やフレコンでの保管方法を試行中。



WCS



白老和牛



ペレット堆肥 (フレコン)